

第6回津別町議会臨時会『行政報告』

本日ここに第6回臨時会を招集いたしましたところ、議員各位には極めてご多忙のところご出席賜り、厚く御礼申し上げます。

ただいま発言のお許しをいただきましたので、第5回定例会後の行政報告を申し上げます。

はじめに、**町長の職務代理者の設置**についてであります。10月16日から当分の間、町長が入院加療するため、法令等に則り^{わたくし}私、副町長の伊藤泰広が町長の職務を代理することとしましたので、ご報告します。

次に、**阿寒摩周国立公園90周年記念式典**についてであります。昭和9年に指定された最も歴史の長い国立公園の一つである阿寒摩周国立公園が90周年を迎え、記念式典が9月27日に弟子屈町の釧路圏摩周観光文化センターにおいて開催されました。

この式典には、阿寒摩周国立公園広域観光協議会に参画する市町村長及び議長並びに国会議員、道議会議員等の多くの方が出席する中、「これからの国立公園の担うべき役割」と題して、観光に関する有識者である山田桂一郎氏が基調講演を行い、活発な意見が交わされたところでした。

本町は、阿寒摩周国立公園への上里地区の編入を環境省に対し要望しており、公園の保全と利用の両立について、関係自治体や関係機関とともに推進して参ります。

次に、**第20回全国まちづくり交流会 in 津別町の開催**についてありますが、9月27日から29日にかけて町と実行委員会との共催により、全国から147名の参加者が訪れ、津別町の芸能、食、観光資源を堪能しながら交流を深め合う場となりました。

この交流会は2003年、愛知県の現在は豊田市になります足助町で第1回が開催され、途中コロナ禍での中止を挟みましたが、本年の第20回をもって最終とすることが前回の交流会で宣言されておりました。

今回が最終ということもあり、与論島で開催された昨年を大きく上回る参加者たちと、ステージイベントやまちづくりの事例発表、町内ツアー、大交流会での食のおもてなしなどを通じて、大いに盛り上がり交流を深めたところであります。

本交流会において、津別町の人材や資源の豊かさを、改めて実感するとともに、ご協力いただいた関係各位に対しまして深く感謝を申し上げます。

次に、北海道東トレイル及び屈斜路カルデラトレイルの開通につ

いてですが、10月5日に弟子屈町の釧路圏摩周観光文化センターにおいて、北海道東トレイル開通式典が開催され、このトレイルが通る14の市町村長と関係機関の長が登壇し、手をつないでトレイルの開通を宣言しました。

北海道東トレイルは、釧路湿原国立公園、阿寒摩周国立公園、知床国立公園の3つの公園をつなぐ全長410kmの世界水準のロングトレイルであり、この一部として津別峠から美幌峠を經由し藻琴山をつなぐ屈斜路カルデラトレイルも同日に開通しました。

道東の雄大な景色を求め、インバウンドを含めた多くのハイカーが訪れることを期待するところであります。

次に、エコツーリズム町民学習会の開催についてであります。10月7日、中央公民館において、本町のエコツーリズム推進協議会のアドバイザーである文教大学国際学部国際観光学科の海津ゆりえ教授を講師に、「未来を引き寄せるエコツーリズム 地域の宝を活かしたまちづくり」と題して、ご講演いただきました。

講演後の質疑において、教授より「津別町の宝は？」という問いがあり、雲海、チミケップ湖、ダイヤモンドダストなど多くの津別の資源が挙げられ、エコツーリズムの理解を深めるとともに、改めて津別町の良いところを考える機会となりました。

次に、医療・介護・地域の支えあい まちづくりフォーラムについてであります。10月19日、中央公民館において開催し、「住みなれたつべつで最期まで～あなたはどうか、人生をしますか？」をテーマに、町民の方々や関係者75名が参加されました。

フォーラムの冒頭では、医療法人社団 田中医院 院長 田中克彦先生により、近年の在宅医療と介護の連携や、人生の最期までご本人の意思決定を支える取組についてご講演をいただいた後、町内の医療・介護関係者、介護経験があるご家族の3名からの現況報告があり、田中先生と共に意見交換を行いました。

今回のテーマによるフォーラムは6年ぶりでしたが、参加された方々からの反響が大きく、医療や介護が必要となった際に自分自身が選択や決定をすることの大切さや、医療や介護の連携について知ることができる有意義なフォーラムとなりました。

なお、今議会におきまして、契約の締結、補正予算等の議案を提出いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げます。